



地域再生 協議会だより

百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 59-9356(火・金午前)

isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

後継組織 大筋固まる

規約、事業、組織など。準備委員長に廣上氏

再生協議会は17日、後継組織検討の第2回会合を開き、新規約、事業・事務局体制などの概要を固めた。12月初めにも3自治会代表が入った拡大部会長会議に説明する。また、来春の立ち上げに向けて細目を詰める準備委員長に廣上正市氏(現協議会事務局長)を選出し、スムーズな組織移行を目指す。

現事業部会の新組織移行

地域交流部会	継承	生涯学習部会に。町補助事業	古民家部会	解散	古民家管理は町に移管
友情の山部会	〃	友情の山の維持・管理費は町負担	散策路部会	〃	生涯学習部会に組み入れ
音楽活動部会	〃	音楽祭は県住宅公社との共催に	移動支援部会	〃	町社協、地域社協と協議中
空き家対策部会	〃	お試し移住の実施(国交省補助)	県公社部会	〃	部会から協力団体に

後継組織の大枠を定める規約では、目的として「一色、緑が丘、百合が丘地区住民の生活・居住・文化環境、健康・福祉の向上等に関して、住民が相互に協力し、親睦を図りつつ、活力あるコミュニティ、魅力ある地域の形成を目指す」ことを明記。事業に携わる住民、地区自治会、県公社から役員を選び、連携協力して活動することをうたっている。

来春のスタート時点での事業体制では、地域交流、友情の山、音楽活動、空き家対策は現在の部会活動の基本形を引き継ぎつつ、完全自立型に切り替えていく。古民家、散策路、移動支援は独立部会としては一旦解散し、町への移管などを進める。県住宅公社部会は独立部会としての旗は降ろすものの、音楽活動、空き家対策を中心に活動に積極的にかかわっていく。

事務局は、事業規模の縮小と部会の独立運営化に伴いコンパクト化する。機材や電子機器、設備、備品などは町へ移管する一部を除き、新組織が引き継ぐことで最終調整中。準備委員長は残りの案件を詰めるほか、来春に向けた役員選任、事業予算、事業計画づくりを主導する。

お試し移住 2次募集開始。1次応募 54組

空き家対策部会(廣上正市部会長)は12月21日(金)締め切りで「お試し移住」(2泊3日)の第2次募集を始める。令和4年1月、2月末に合計4組の家族に「湘南・にのみや暮らし」(宿泊費無料)を体験してもらう。第2次の実施日は、令和4年1月28日(金)～30日(日)、2月25日(金)～27日(日)。各回とも2組(1組4人以下)の募集。

2ヶ月遅れでスタートした第1次は4組募集に対して54組の応募があった。今月26日(金)に最初の組を迎え、ガイダンスなどを行う。テレワークの広がりなどを背景にこの地域への関心が高まっている表れと見ており、県住宅供給公社と連携し、移住希望家族を迎える準備を進めている。